

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

# 鮎

6

JUNE  
1996



TOPICS 県漁連・信漁連・共済組合  
—平成8年合同通常総会

No.476



## 季節の香

かおり

### 【バラ／薔薇】

小糠のような雨の降る中で、小さなバラ園は華やかな色彩に溢れている。鮮やかな花びらを雨が滴となって流れた。慈雨への歓喜の涙のようにも見える。

原種が複雑に交ざり、様々なバラが創りだされた。気品ある美しさと豊かな香りのハイブリッド・ティは十九世紀に出来た名品である。大輪の花が沢山咲き極めて強健な優れものだ。

その実が解熱薬となり、ギリシャ時代には既に栽培していたらしい。花からローズ香水が作られる。美花／芳香／薬効と三拍子の揃った花も珍しい。

美しく咲かせるにはバラを良く知ることだという。それには、毎朝話しかけることだそう。バラづくりのベテランが愉し気にそんなことを教えてくれた。

# COLUMN

**渓流釣り**

◆勢いのある流れの中に、腰まで浸りながら釣り糸を垂れている。サカナの習性をうまく利用した鮎の友釣りを愉しむ人々たちである。山影を映す川筋に、釣果を待っている姿は一幅の山水画だ。アユの住める川は、水のキラメキを見ているだけでも心が洗われるのである。

◆真夏でも二十度以下の流れにはヤマメが住む。それを追って谷筋に入り、渓流釣りの伴をしたことがある。上流に滝などがあった、その先には魚は住めなくなるが、

手前の淵には背を光らせて魚影が見える。それを狙ってカワセミが岩上に飛んでいる。鮮やかな瑠璃色の羽が翻って、パッと踊った瞬間に小さな魚を餌食にしていた。流れに沿う樹陰で、そんな光景を目にできるのも渓流釣りの愉しみである。

◆渓流での釣りは、深い緑に囲まれているものだから森林浴をも兼ねている。澄んだ流れに逆らうヤマメやアマゴの泳ぎっぷりは、元気で勇壮な若い衆を思わせる。先年亡くなった井伏鱒二は、尊魚堂主人とも号する渓流釣りの釣り師であった。釣りを楽しむ奥義は「釣

り場の山川草木に融け入り、流れと一体になることを念じ無心になることである」と説く。釣魚の楽しさを綴った著書は、羨ましいような痛快さに溢れている。

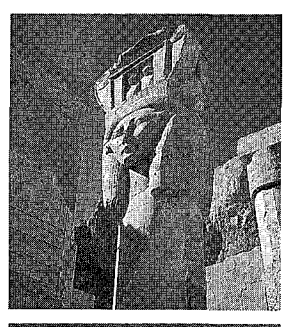
◆爽やかに日光を散らす流れに見惚れるのも良い。釣れても釣れなくても、無心に糸を垂れるのも良い。これは絶好のストレス解消になるが、こうした清流が少なくなるのが哀しい。開発という名の破壊に制動レバーを引きたくないのである。快い愉しさは金で買えるものではない。また、金で買わせるものと思いつくのも間違っていると思うのである。(遊方子)

## 拓水 JUNE CONTENTS

季節の香	バラ/薔薇	2
COLUMN	渓流釣り	3
リレー随筆	『想うまま』 樹について考える	4
水試ノート	ヤコウチュウ(夜光虫)について	5
TOPICS	県漁連・信漁連・共済組合 平成8年合同通常総会	6
栽培漁業センターです		8
普及員だより	漁業PR時期の到来!	
漁海況情報		10
海区漁業調整だより		
旬の美味しい話	きすの甘酢あんかけ	11
兵庫JCC通信	JA女性組織の綱領・5原則を変更 愛と協同が息づく兵庫のまちづくりをテーマに 第46回通常総会を開催	
こちら海ですロケだより	海辺でみつけた長寿の秘訣 ～兵庫県城崎郡香住町より～	

### 今月の表紙

#### フォトギャラリー



表紙写真  
稲岡啓明さん  
〈高砂在住〉

#### フォト歳時記

古代の巨像(エジプトにて)  
灼熱の太陽を照りかえしている、巨大な石像に圧倒される。何という大きさをうか。暑さも忘れてしまつた。  
スフィンクスや巨大神殿も見た。死せる王のための住居である。流麗な装束とが残る、大きな円柱も人間技とは思えない素晴らしいものだ。  
海外協力隊として二年アフリカに居た。ザンビアで数人の仲間と頑張った、その記念のような旅行だった。四季のない生活にも慣れたが、やっぱり暑さは苦手だ。日本よりもカラッとしてはいないが…。

#### 表紙写真募集

アマチュアの方で、ご自慢の写真がございましたら、左のように明記して、お送り下さい。写真は必ずご返却いたします。①写真撮影場所②氏名(フリガナ)③郵便番号・住所④自宅電話番号(市外局番号も)⑤年齢・職業  
送り先  
千六五二神戸市兵庫区中之島二丁目  
二一 県立水産会館  
兵庫県漁業協同組合連合会  
指導部指導課「拓水」係宛

『想うまま』

樹について考える

クスの若葉が目立ってくると、赤っ

ぽい古い葉は次々と散り始める。そし

てクスは黄緑に輝くような色合いにな

る。大きな樹形だから、一般家庭には

不向きであるが、神社や寺の境内では

天に向かって伸びをする姿が見られる。

まるで吹き上がるマグマのような熱い

息吹きが感じられるのである。神戸駅

前の湊川神社はクスの森として知られ

るが、樹陰に入ると真夏でもヒンヤリ

として心地良く、ビルの谷間にあつて

都会のオアシスになっている。

落葉樹の多い森では、落葉や枯れ枝

が無数に溜まり森が埋まってしまう筈

なのに、誰がどのようにして片付けて

いるのだろうか。答えは、森には大勢

の掃除屋が活躍しているのである。カ

ビヤキノコが分解した落葉をミミズや

ダンゴムシや甲虫の子供たちがセッセ

と噛み砕いて粉々にし、土壌に返す役

を引き受けている。小さな虫が土にし

たものには、豊かな養分が含まれ樹々

の栄養源になる。樹は虫のために葉を

落とし、虫は返礼に滋養分を提供する。

自然界の巧みな助け合いの構図である。

こうして作られた土壌は、有機質に

富んで孔隙が多いから水が浸透し易く、

大きな保水力を持っている。大量に降っ

た雨も離さず、ゆっくりと下層へと

流していく。それは自然の捨てた巨大

なダムとして水を貯える役目をしてい

るのである。樹木の繁った森に入ると、

まるで親の懐に抱かれたような大きな

安らぎを覚えるのは、この貯えられた

豊かな水による作用だと思う。

樹は生長するために、太陽光エネル

ギーにより光合成をして、炭酸ガスと

水から炭水化物を作り酸素を放出する。



近代文明の莫大なエネルギー消費は、

酸素を大量に燃やして炭酸ガスを増や

し続けている。二十一世紀半ばには炭

酸ガス濃度はますます濃くなり、現在

の倍近くなると予想され、それにより

赤道あたりの砂漠化が急速に進むだろ

うと言われている。樹木は、光合成で

出来た炭素を有機質に変えて幹に貯蔵

するから、その分だけ大気に戻るのを

防いでいる。だから、森林を大切に

することは、地球温暖化にブレーキを

かける事になるのである。

森の中では、騒音が消え空気が澄ん

でいる。樹木の葉の茂みが騒音を吸収

して静けさが保たれ、新陳代謝によっ

て空気が清浄化される。そんな深い森

に入って憩いの時を持つことは、大い

なる喜びに繋がるだろう。森の樹に触

れ、グリーンシャワーを浴びれば幸せ

一杯になる。森には精霊が住むという

伝承を信じて豊かな緑に包まれた一日

を送るならば、心が洗われてストレス

も吹っ飛ばに違いない。そして樹を大

切にしたい。その魅力は無限である。

(A生)

今回は映画に蘊蓄のあるK・A氏の

「映画について考える」です。

ご期待ください。

## ヤコウチュウ(夜光虫)

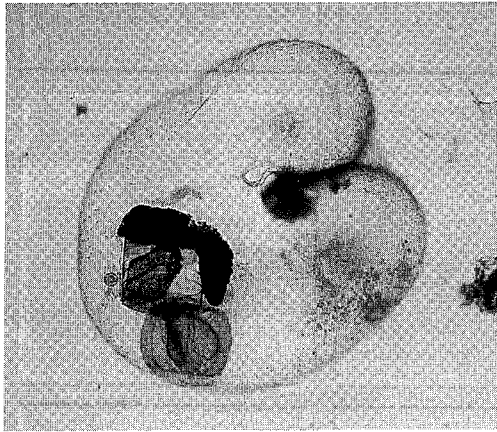
### について

瀬戸内海における赤潮の発生件数は、水質規制などのさまざまな対策が実施されてきた結果、昭和五十年代以降はゆるやかに減少してきています。しかしながら、最近でも未だに毎年百件前後の発生が記録され、漁業被害等多くの問題を引き起こしているのはご承知のとおりです。さて、みなさんは、これらの赤潮の原因

となるプランクトンのなかで最も発生頻度が高いのは一体どのような生物なのか、ご存じでしょうか。実は、それは *Noctiluca scintillans* という学名を持つプランクトンで、一般には「ヤコウチュウ」と呼ばれている生物です。今回は、このヤコウチュウについて、少し紹介してみたいと思います。

ヤコウチュウは漢字で書き表すと「夜光虫」となり、その名のとおり暗闇で発光する生物です。大きさは概ね一ミリメートル前後で、桃のような形をしています。夜間に波間で光りながら揺らめいていたり、ロープやネットの形が光で浮かび上がったたりするのを見られたことがある方もたくさんいらっしゃると思います。美しい光を放っている情景は幻想的でもあります。しかし、いったん赤潮状態となると海の色を桃色またはトマトケチャップ色に変えてしまい、著しく景観を損ねます。

ヤコウチュウによる赤潮は、播磨灘、大阪湾、および紀伊水道などの海域では、



大型珪藻を食べていたヤコウチュウ (ヤコウチュウの大きさは直径約1・1mm)

例年春先から夏にかけての時期に頻発し、時として新聞紙上を賑わします。私自身も、この赤潮をはじめて目の当たりにした時は、その毒々しい海の色に驚愕したものでした。ヤコウチュウは、魚介類に直接的には悪影響を与えることは少ないとされてきましたが、体内に高い濃度のアノモニアを含むことや、赤潮消滅後には沈降・堆積し、海底付近を無酸素状態にすることから、魚類が死んでしまった例も報告されています。たとえ短時間であっても、魚類を活かす際に赤潮状態の海水を使うことは避けたほうが賢明でしょう。

また、ヤコウチュウは名前に「虫」が付いているものの、分類上は藻類(渦鞭毛藻)の一種です。しかしながら、藻類とはいっても光合成をするための色素を持っておらず、自分自身の力では生きていくための栄養分を作り出すことができません。そこで、ヤコウチュウは他の生物などを食べることによって栄養分を獲得し、増殖していきます。(この意味では、「藻類」よりもむしろ「虫」というイメージのほうが現実に近いかも知れません。)食性としては、海中のクズかすや、他の動物プランクトン、さらには魚の卵をも食べてしまうことが知られています。水産試験場が毎月実施しているネット調査では、冬季に大型珪藻(植物プランクトンの一種)を大量に捕えて食べていたのが観察されたこともありま

# TOPICS

## 県漁連・信漁連・共済組合 平成八年合同通常総会

県漁連、信漁連、共済組合三団体合同通常総会が去る五月二十一日に開催されました。

通常総会開催に先立って例年通り、地区別事前説明会が五月十三日但馬地区、五月十五日摂播地区、五月十六日淡路地区において実施され、平成七年度事業実績、平成八年度事業計画等の総会提出議案について三団体より各々詳細な説明がなされており、通常総会においては森漁協の森組合長を議長に選出、議事は滞りなく進行し、三団体より提出された全議案は原案通り可決決定されました。議事に先立ち、本総会にご臨席頂いた兵庫原兵庫県知事より「日頃県政万般に亙りまして何かと温かいご理解、ご支援を頂いておりますことに衷心より感謝申し上げます。阪神淡路大震災以来一年四ヶ月を経過しましたが、皆様方の中には大変な被害を受けられた方もおられ、改めて心よりお見舞い申し上げます。瀬戸内では一本釣り漁船漁業が盛漁期を迎え、日本海側ではイカ漁が始まりますが、皆様方が漁業振興の為にリーダーとしてご努力されている事に心から敬意を表します。昨年十二月食料安全保障の国連会議が京都で開催され、また国会では新しい国連海洋法条約等が審議されていますが、今後、爆発的に増加する地球の人口を支える食料、自然エネルギー等が大きな人類的課題になってきており、日本は先進国として指導的立場で努力しなければなりません。私たちは、



な人類的課題になってきており、日本は先進国として指導的立場で努力しなければなりません。私たちは、

震災の中で人間が自然と共に生きていく事を改めて痛感した訳ですが、このような教訓をもとに今後とも自然環境の中で、お互い弱い人間同士が手を携えて生きていくような社会を作っていくよう努力しなければなりません。そういう状況におきまして協同組合組織は非常に大きな意味を持っておりまして、今後更にその機能が様々な分野でも再認識されていくことと思えます。どうかこの伝統ある漁業協同組合を支えられてきた皆様方が、さらなるご精進をなさりますことを心より祈念申し上げますとともに漁業系統団体の今後一層のご発展と会員の組合並びに組合員の皆様方のご家族共々のご多幸、ご健勝を心より祈念申し上げます」との祝辞を頂きました。

### ◇兵庫県漁業協同組合連合会

通常総会の開催にあたり、小川代表理事会長より「昨今の漁業を取り巻く環境がことのほか厳しさを増している中、本県の場合は阪神淡路大震災の影響が色濃く残り、加えて、内海の主幹漁業である、のり養殖において栄養不足による色落ちのため、かつて無い大量無札のりの発生等がありました。しかしながら、困難な状況の中で明日に向けて皆様方のためまぬご努力と決断、そして何よりも協同の力により、こうした困難な状態を乗り越えて行かれる姿を間近に拝見し、兵庫の漁業にも明るい展開の兆しが見えて来た予感がいいたします。

当会の事業も厳しい環境の中、皆さんの格別なご協力により、本年度はますますの成果を上げることは出来たものの、当会の基幹をなす石油部門においては、特石法廃止に伴い極めて不透明な状況であり、今後に向けての基盤強化の一助とすべく剰余金は極力内部留保に努めたく、今期は配当を行うことが出来ない状況です。県漁連としましては『常に皆さんと共に歩む』『皆さんの信頼の絆』を大切にしながら、頼りがいのある県漁連として益々基盤の強化に努め、漁業関係者の負託



に応えるべく最善を尽くして取り組んで参りますので、今後とも格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

▼事業概要▲  
平成七年度は漁業経営が大変厳しい状況であることを踏まえ漁協大会の基本テーマである「豊かな海づくり／豊かな地域づくり／豊かな組織づくり」をめざし、粘り強く事業を推進するとともに、漁業災害対策本部を中心に震災による被災者への支援活動や国・県に対して陳情・要望活動を精力的に展開しました。また、当初計画に掲げた「七つの重要な柱」に対して積極的に取り組み事業を推進いたしました。

- なお、各事業の取扱実績は次のとおりです。
- (1)購買事業
    - 石油取扱高 七十一億円
    - 資材取扱高 三十四・一億円
  - (2)販売事業
    - のり共販 百八十億円
    - ワカメ共販 〇・五億円
    - 鮮魚取扱高 七・三億円

▼事業計画▲  
昨年度に続き「心豊かな暮らしと活力ある漁村社会の創造」をテーマに三つの大きな基本方針と七つの重要な柱を中心に事業の推進を図ります。

〔基本方針〕

- 一、漁村を担う人づくりをすすめます。
- 二、活力ある組織づくりに努めます。
- 三、青く豊かな海づくりを推進します。

〔重要な柱〕

- 一、充実した研修を通じて漁村の人づくりを推進する。
- 二、漁協合併の推進を柱とする漁協の組織

経営基盤の強化と、併せて将来の発展に向けて当会の経営の強化に努めます。

三、資源管理型漁業の効果的推進に努めます。

四、兵庫のり研究所の機能を十二分に発揮し、のり養殖漁業の振興を図ります。

五、漁場環境の保全、遊漁対策並びに操業安全に対する指導を推進します。

六、協同組合間の提携をさらに強め、水産物の販路拡大に努めます。

### ◆兵庫県信用漁業協同組合連合会



通常総会の冒頭、木下代表理事会長は「金融面では、相次ぐ信用組合・銀行の経営破綻が発生し、特に住専問題については農林系金融機関をも巻き込んだ問題に発展しています。このような状況下にあります。本会の業務全般については役員一体となって経営努力を重ねてまいりました。特に震災復旧・復興関連融資に積極的に取り組むとともに、資産の健全化につきましても大きく改善をはかることができました。又、将来展望に立った漁協系統信用事業組織の再構築をめざして検討を開始しました。会員各位をはじめ行政庁・農林中央金庫ならびに関係諸機関の皆様には、ご理解あるご協力

とご支援をお願い申し上げます。」と挨拶し、引き続き、平成七年度信用事業推進優良漁協として以下の組合の表彰が行われた。

- ・兵庫県知事賞―坊勢漁協
- ・農林中金理事賞―林崎漁協
- ・全漁連会長賞―浜坂町漁協
- ・信漁連会長賞―江井ヶ島漁協、坂越漁協、富島漁協、沼島漁協、津居山漁協、香住町水加工

### △事業概要▽

平成七年度は、「兵庫県漁協貯蓄八百億円達成運動」の第七年度として目標額七百二十三億三千万円と設定し、貯蓄増強につとめてまいりましたが、大震災の影響・復興への支出などもあって、結果的には、六百九十七億七千万円に止まり期首残高を下回るものとなりました。しかし、こうした環境下でありましたことを考えますと、漁協役員の大変なご努力があったものと、深く敬意と謝意を表す次第であります。漁協貯蓄の実勢を受け、信漁連貯蓄の期末残高は期首を下回ることとなりました。貸付業務は、昨年度に引き続きのり養殖漁業の堅調な設備投資と一部沖合漁業の代船建造、大震災の復興による新規需要が拡大し、前年度を上回る実需で推移しました。震災復興支援融資につきましては、漁業施設の復興資金・既借入金金の条件緩和措置などを機動的に、又、復興住宅にあつては、住宅公庫と本会の特別対策を両輪に集中的融資要望に応えてまいりました。収支状況は、財務の健全化を目標に経営努力を重ね債券運用により財源造成につとめ、特定有価証券の流動化は計画を大きく上回る実績をあげ、又、相当額の貯蓄奨励金を支出することができました。

### △事業計画▽

平成八年度は、金融の超緩和策の持続、金融機関の経営健全化、秩序回復が期待される年であり、住専問題などの実態解明からディスタロジャーの拡充、不良債権処理、合併推進など金融機関の経営をめぐって急ピッチでめまぐるしく展開することが予想されます。漁協系統信用事業は今や抜本的な体制整備が

急がれ、本会においても生き残りをかけて「一県一信用事業統合体」の構築を目指し具体的に検討を重ね実効を期する所存であります。会員各位のご理解あるご協力と行政庁・農林中央金庫・関係諸機関のご指導ご支援をお願いいたします。

### ◆兵庫県漁業共済組合

通常総会の開催にあたり、吉岡組合長より冒頭、「共済事業の各般に渡りご協力いただいていることを、まずお礼申し上げます。当組合の平成七年度の事業状況につきましては、昨今の非常に厳しい漁業経営環境を反映して、大変厳しい年でございました。

不安定な漁業情勢の中にあつて、漁業経営のささえとなり、いささかでも漁業者のお役に立てますよう、努力を重ねていきたいと考えていますので、今後ともご協力をお願いいたします。」と挨拶した。

### △事業概要▽

平成五年度から始まった、「ジャンプアップぎよさい」運動の最終年度にあたる平成七年度は、「ぎよさい」制度の普遍化と、大震災における経験が踏まえ、不測の不漁、災害に際し十分な補償がなされるよう、制度の高度利用の向上を目指して、共済金額百九十二億円の目標を設定し、積極的な取り組みを行なつてまいりました。しかしながら、漁業経営環境は一層の厳しさを加え、逐年下降線を辿る漁獲高に比例して補償水準も低下せざるを得ないという、推進し極めて難しい状況のなかで、関係漁協はじめ組合員のご理解を得ながら推進に努めましたが、共済金額百七十七億円の実績にとどまりました。目標の達成には至りませんでした。漁業共済事業に対する県当局のご指導と、関係市町及び漁業系統団体並びに漁協、漁業者各位のご協力に対し、心から厚くお礼を申し上げます。

一方、共済金の支払では、近年特に漁獲状況の変動が大きくなりつつある機船船びき網漁業、異常赤潮により死亡したかき養殖業及



び阪神・淡路大震災により生産施設に甚大な被害を蒙った特定のに養殖業において、総額で七億二千万円の支払

額となりましたが、漁業経営安定施策の一翼を担う共済事業として、このことは漁業者各位の経営安定に大きく寄与したものと受け取ります。

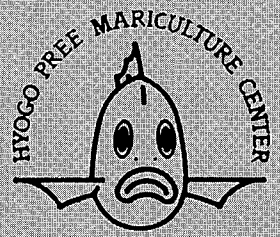
### △事業計画▽

平成八年度は、昨年度までの「ジャンプアップぎよさい」運動の成果と反省をふまえ、本年度から新たに展開する「パワーアップぎよさい」三ヶ年運動の初年度として、未加入漁協の解消と「ぎよさい」の高度利用の促進を目標に設定し、普及推進に努めてまいりますので、よろしくご支援、ご協力をお願いいたします。

### 兵庫漁連(新人職員の異動について)

兵庫漁連では、六月一日付で職員員の異動を行った。五月号で紹介した「ニューフェイス」のうち総務部付の方々の配属先をお知らせします。

- 西上幸作―販売部業務課
- 蟬塚俊則―播磨支所購買課
- 井川直人―兵庫のり研究所環境品質科
- 宗和貴光―播磨支所指導課
- 山口 卓―販売部推進課
- 多桐繁樹―販売部推進課



# 栽培漁業センターです

## 93

# ガザミ・マダイの

# 種苗生産

## △ガザミ種苗生産▽

協会運営の種苗生産施設は県内に四カ所あります。六月中旬のこの時期からそれぞれ種苗生産対象種の産卵期が重なることで、どの施設も一年で最も忙しい時期になっています。

まず二見では五月八日からガザミの種苗生産事業がスタートしています。二見事業場の屋内百トン水槽五槽を使い、六月三日までに三百四十二・四万尾の稚ガニを生産し、無事関係市町に配布を終えました。合計五百万尾の生産を目標に、六月十四日現在同水槽二槽を使って飼育を続けていまして、ステージは

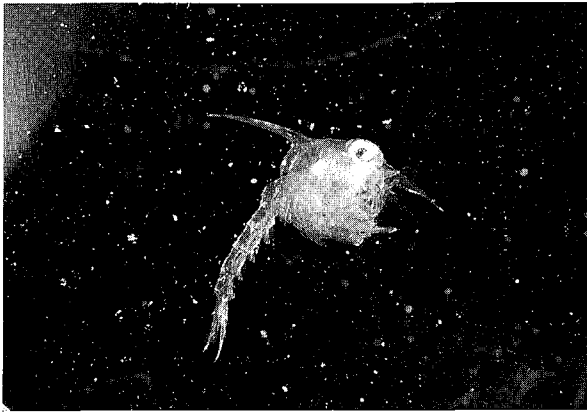


写真1 まだ親と似つかない姿をしたガザミのゾエア期幼生

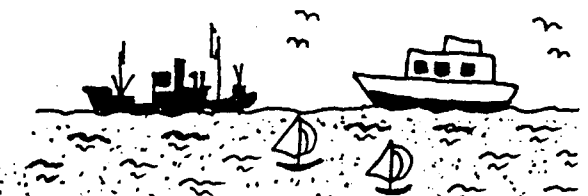
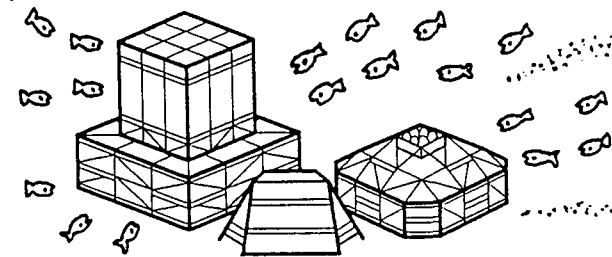
ゾエアの四令で飼育は順調です。ガザミは共食いによる減耗が激しいため、カニの形に変態すると同時に配布しますので、甲幅で約五ミリと他の魚種に比べ配布サイズは極めて小型です。生産したガザミ種苗をより多く資源添加させるためには、今後効率的な中間育成手法について検討していく必要があります。

こうした情勢を踏まえ今年度は県内三カ所の市町で本種の中間育成が試みられています。当二見事業場でも種苗生産事業終了後に中間育成試験を行う予定にしています。

躍動する海

活動する

神鋼鋼製魚礁



神戸製鋼グループの魚礁メーカー

神鋼建材工業株式会社

本社 〒660 兵庫県尼崎市丸島町46番地

TEL (06)418-3797 FAX (06)418-2423



# マダイ種苗生産

例年ですとガザミの種苗生産とはほぼ同時に始まるマダイの種苗生産事業は、今年地先水温が上昇するのが遅れたので、例年より約二十日遅い五月二十五日に屋外百トン水槽に三百八万粒の受精卵を収容して開始しました。第二回目の収容も二週間後に行って、現在それぞれふ化後十九日目で全長五・五ミリ、五日目で全長三・三ミリに成長しています。五

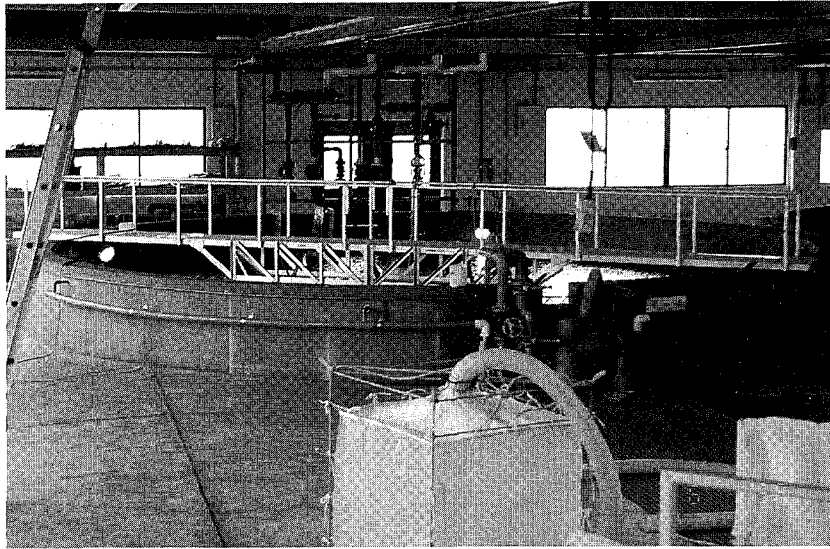
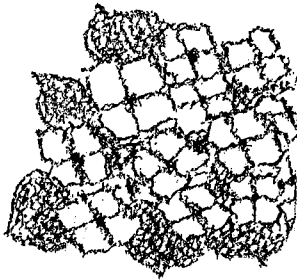


写真2 屋内円形ガザミ種苗生産水槽

月以降水温は例年並に上がっていますので七月中旬には配布サイズに達すると思います。マダイの種苗生産は但馬の栽培漁業センターでも行っていますが、こちらも計四百万粒の受精卵を使って二見より五日早く生産を始めています。現在第一回目の収容分がふ化後二十三日目で八ミリに、第二回目の収容分がふ化後十八日目で六・五ミリに成長しています。併せて約二百五十万尾を飼育中です。

最後に協会津名事業場では、いよいよ六月二十日からクルマエビの種苗生産事業が、十五ミリサイズの稚エビ千万尾を生産目標にスタートします。  
(兵裁協 楽 敦司)



# 普及員だより

## 漁業PR時期の到来!

平成七年度に加古川・高砂市内の消費者を対象に行った「消費者における地元農漁業者への意向調査」によると、消費者の食品選択において、最重視するのは鮮度・値段・安全性であり、見栄えは二の次とする人が多い結果となりました。また、輸入水産物については、「安くても買わない」といった意見(二七・八%)があるものの、「安全なら買う」(五三・〇%)が半数を占めています。しかしながら、地元の水産物への購入意欲は、図1のように圧倒的です。「新鮮さ、安全性を求めらるなら地元が一番」と、消費者の目は地元に向きつつあり、生産者からの直接販売や情報発信・交流を希望する声も多く聞かれました。

さて、漁家には、伝承である干物や魚肉ねり製品等の水産加工技術があります。それをわが家で眠らせておくのはもったいないのではないでしょうか。「無添加」といった安全食品志向が強い現代にその技術が活かされてくる時ではないか、と思います。同調査の中で「漁師の奥さんによるお魚料理教室が開催されたら」という質問に、図2のような回答が得られています。幸いにも、加古川・高砂市は消費者を目前にしています。「地の利」を活かして近隣の消費者との交流を通じ、消費者ニーズを探ると同時に漁業のPRを実施していく時がやってきているのではないのでしょうか。がんばって/おかあさん。

(加古川農業改良普及センター 秋月 麻美)

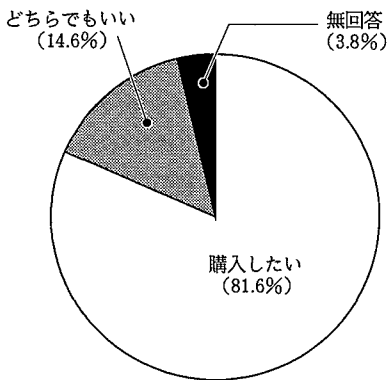


図1 地元の水産物を購入したいですか

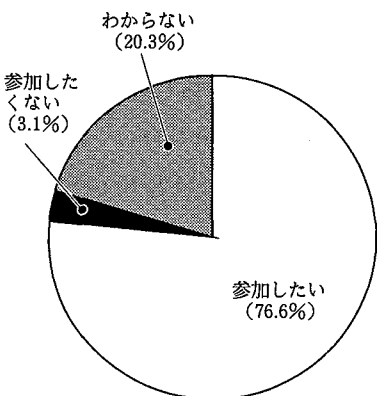


図2 漁師の奥さんによる料理教室が開催されたら?

# 漁海況情報

兵庫県立水産試験場  
平成8年5月

## 海況

△概況▽ 播磨灘の水温は依然として低めに推移しており、灘表層の十五点平均値で十三℃と平年(十四・二℃)に比べかなり低い値を示している。塩分は、先月よりも低下したが、灘表層の五点平均値で三十二・七と平年(三十一・七)に比べやや高い値、十m層で三十二・八、底層で三十二・九五と平年(三十二・三)に比べ七に比べかなり高い値を示している。透明度もかなり高い値を示しており、家島群島の南では十四mを超す地点がみられる。栄養塩類濃度は、溶存態窒素がやや少なめ、リンと珪酸が平年並の値を示している。大阪湾西部では、四月中旬に表層の溶存態窒素が高い値を示していた。紀伊水道北部では、二、三月に引き続き、沼島周辺に高水温、高透明度の水塊がみられた。

△水温▽ 播磨灘表層は十二・四～十三・五℃、十m層は十二・四～十三・一℃、底層は十・七～十二・七℃であり、灘最深处では表層と底層の水温差が二℃以上ある。

△透明度▽ 播磨灘十五点平均値は十・三mで、平年(六・九m)に比べかなり高い値を示している。高透明度域には長さ五～十cm程度の紐状の懸濁物が多くみられる。

△フランクトン▽ 播磨灘では小型珪藻としてキートセロスやニッチア等が出現し

ている。

△栄養塩▽ 播磨灘の溶存態窒素は十五地点平均値で一・六～二・二μgat/ℓと、表、中、底層とも平年(三・三～四μgat/ℓ)よりやや少なめの値を示している。溶存態リンは〇・一三～〇・二三μgat/ℓと、平年並(〇・一二～〇・二μgat/ℓ)の値を示している。珪酸は二・五～六・一μgat/ℓと平年並(四・七～三μgat/ℓ)の値を示している。

## 漁況

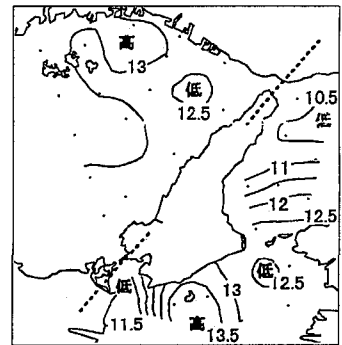
△小型底曳網▽ 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網(ちん漕)では、シャコ、サルエビ、マダコ、ハライカ等が主に漁獲されている。紀伊水道北部では、コウイカ、テナガタコ、カサゴ等が主に漁獲されている。

△一本釣・曳縄釣▽ 明石海峡及びその周辺海域では、マサバ、スズキが主に漁獲されている。一方、紀伊水道北部では、マサバ、タチウオ、スズキが多い。

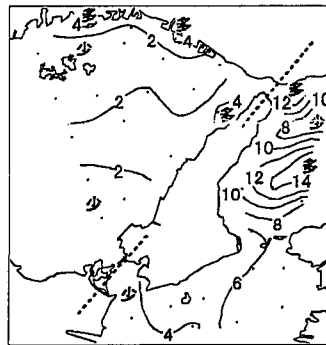
△船曳網▽ しらす春漁は、現在のところ大阪湾では好調に推移しているが、播磨灘では本格的な魚群の来遊は見られない様である。

△カタクチイワシ卵・稚仔▽ 卵は、播磨灘及び大阪湾の沿岸部を中心に出現しており、全体的に平年並みか平年をやや下回った。

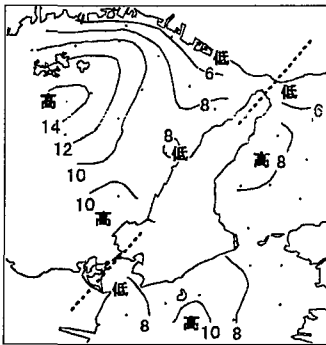
水温(表層、℃)



窒素濃度(表層水、μgat/ℓ)



透明度(m)



水温、窒素濃度および透明度の水平分布(大阪湾および紀伊水道のデータは平成八年四月十六・十七日調査分)

## 海区漁業調整委員会だより

五月二十九日

兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を兵庫県中央労働センターで開催

### 一、水産業の振興について

水産業の現況、水産業振興の重点方策及び平成八年度を中心とした主要水産振興施策について水産課より説明を行った。

また、国連海洋法条約締結及び関連法案の整備について、国会審議の状況報告を行った。

### 二、その他

海区漁業調整委員会委員の改選の予定について、水産課より説明を行った。

五月二十九日

但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

一、県外船に対する小型いかつり漁業の許可状況について(報告協議)

水産課から当該許可状況について報告があり、了承された。

二、TAC法施行に関するヒアリング結果等について(報告協議)

水産課から結果報告がなされた後、

吉岡委員から国連海洋法条約関連法案を審議している衆議院農林水産委員会において参考人として、沖合海域における国直轄の沿岸事業制度の創設を要望した旨報告があり、実現の見込みもありうる等の意見交換がなされた。

三、中型いかつり漁船の集魚灯光力の自主規制措置について(報告)

水産課から当該措置に係る水産庁沖合課長名依頼文に基づき報告がなされた後、川越委員から、集魚灯は三Kw×七十八灯、作業灯は十二灯以内で操業することが決まった旨報告がなされた。

### 四、その他

ア 全漁調連通常総会の結果について(報告)

当該総会結果の概要について報告がなされ、了承された。

イ 他府県小型いかつり漁業許可方針及び委員会指示について(報告)

当該方針等についてとりまとめ表等にに基づき報告がなされ、了承された。



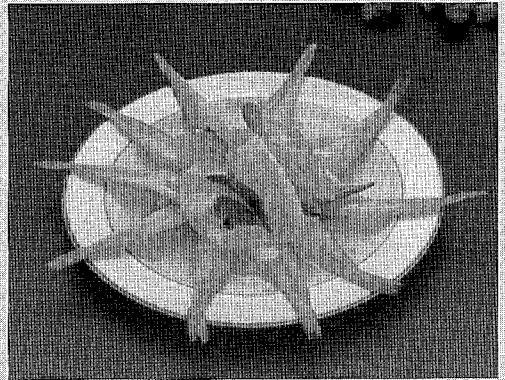
◆材料・分量◆

(4人分)

きす	8尾
人参	小1本
しいたけ	4枚
たけのこ	50g
えんどう	少量

砂糖	大さじ1
塩	小さじ1/2
酢	大さじ1
醤油	大さじ1
片栗粉	適量
だし汁	大さじ3
油	適量

●きすの甘酢あんかけ●



(浅野浦漁協婦人部)

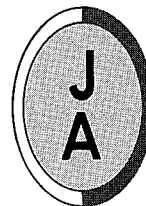
◆作り方◆

- ①きすのうろこ、内臓、頭をとりから揚げにする。
- ②野菜をせん切りにし、油でいため、砂糖・塩・酢・醤油であじつけ、だし汁、片栗粉を加えてとろみをつける。
- ③①に②をかけて出来上がり。(あいなめを利用してよい)

旬の美味い話 ④2



兵庫JCC通信  
今、JA・生協では



愛と協同が息づく兵庫のまちづくりをテーマに  
第46回通常総会を開催

第四十六回通常総会を五月二十一日(火)、午後二時から神戸タワーサイドホテルで開催しました。総会の代議員四十三人中三十八人が出席し、一九九六年度活動計画など六議案について審議し、全議案を可決・承認しました。

竹本成徳会長は、開会にあたり「本日は大きな区切りとなる総会で、五十年の視点があります。すなわち、震災からの創造的復興を果たすこと、協同組合原則を三十年ぶりに改訂したこと、連帯の重要性の高まり、中期計画の出发点、二十一世紀へ向かう協同組合運動をすすめることです」とあいさつをしました。

続いて、来賓を代表して、兵庫県生活文化部長・宮崎秀紀氏、神戸市市民局長・中島龍氏、兵庫県農業協同組合中央会参事・三木久和氏、日本生協連関西地連事務局長・梶田義龍氏に祝辞を頂きました。

任期満了にともなう役員選挙では、竹本成徳



開会あいさつをする竹本成徳会長  
眞良氏(神戸医療生協・専務理事)、中村従好氏(兵庫労働金庫・専務理事)が選任されました。なお、竹本成徳前会長は、名誉理事に就任しました。

J A 女性組織の綱領・5原則を変更

平成八年度から、JA女性組織の綱領ならびに5原則が全国組織の決定により変更されることになった。

変更前の綱領は、昭和三十五年に五原則を、そして四十二年に綱領を組織決定して現在に至っている。しかし、農村における兼業化・混住化、またJA運動におけるJA女性会位置づけなどから変更が求められてきた。変更に関する論議の中心は、五原則第二項の「農村婦人の組織。働く農民である婦人を中心として構成する組織」と規定されている点であった。すでに組織のメンバーの二割近く非農家からの参加があること、今後、地域に開かれた組織をめざし、会員の参加拡大をしていく際に障害となること、表現も組織の実態にあわせるべきだといった内容の議論がなされた。

ポイントは綱領については①「女性」②「女

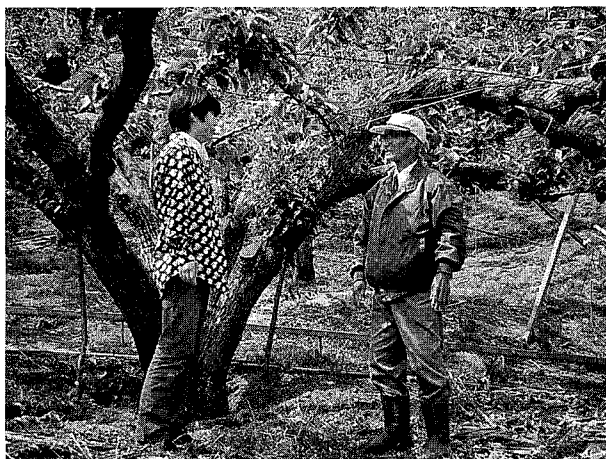


綱領・五原則の変更にもない  
作成されたパンフレット

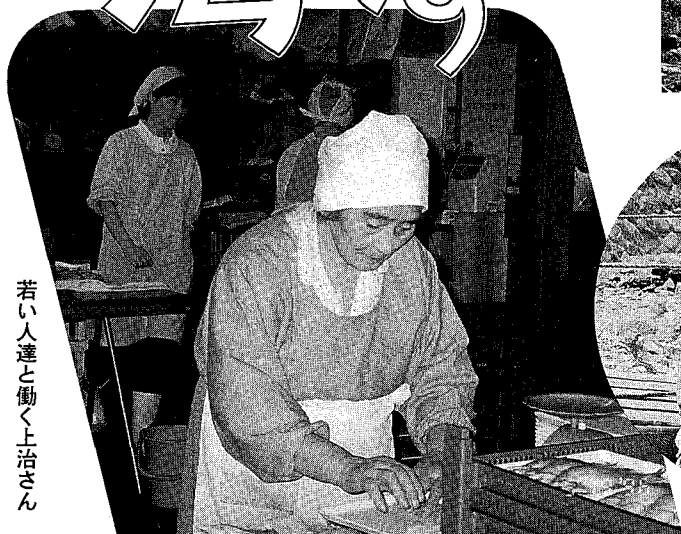
前会長ら五人の理事が退任しました。新会長には、木村正人氏(コープこうべ組合長)、副会長には、石井真弘氏(大学生協神戸事業連合・専務理事)と、石井亮一氏(兵庫県学校生協・理事長)が、常務理事に西田潔氏(コープこうべ・特別参与)が就任し、新任理事に、前川智佳子氏(生協都市生活・理事長)、森口眞良氏(神戸医療生協・専務理事)、中村従好氏(兵庫労働金庫・専務理事)が選任されました。なお、竹本成徳前会長は、名誉理事に就任しました。

●サンテレビの

# こちら海です



ワシの子供みたいという  
最初に植えたなしの木と吉川さん



若い人達と働く上治さん



わかめ切りから帰って  
ホッと一息の駒居さん

## 海辺でみつけた 長寿の秘訣

～兵庫県城崎郡

香住町より～

'96.6月9日放送  
(第976回)

# ロケだより

城崎郡香住町は、町の屋根とも云える三川山の麓から日本海に大きく開口を広げたような扇型をした町です。町の中央部には清流・矢田川が海に注いでいます。香住の町の人に聞くと、読んで字のごとく香住には色々な香りがある香り住む町と云われます。その香りとはい、山からは緑の香り、海からは磯の香り、里からは歴史の香り。この恵まれた香住で今も現役バリバリに仕事を回している、お爺ちゃんお婆ちゃんが今この主人公です。先ず最初にお尋ねしたのは、矢田川の河口の西側・下ノ浜に住む九十才のお爺ちゃん吉川正夫さんです。吉川さんは昭和四年香住に梨の栽培を導入したお爺ちゃんです。現在、香住は全町で四十五ha千二百トン余りを出荷する兵庫県一の梨栽培町となりました。吉川さんは地元ではネクター爺さんと知らない人はありません。朝目が醒めると先ずネクターを締めて朝ご飯、それから梨山へバイクで颯爽と出掛ける毎日です。梨にご飯を食わせてもらっている、ネクターを締めてピシッとしていかな梨に失礼に当たると云うのが吉川さんのネクターを愛する弁。とにかく目が醒めると梨山で日の暮れまで働く毎日、余所の畑の草刈りまでこなすと云う元気振り、その上日課は朝夕一時間の散歩、若い頃兵庫県を代表する中距離ランナーとして鳴らした吉川さん、働く意欲と自分が年寄らと思たらダメだまだと思いう気持が大切と話してくれました。もう一人のお爺ちゃん駒居常二さん九十才。駒居さんは今子浦と云う景色の素晴らしい所の民宿のお爺ちゃんです。朝五時に起きて畑で一仕事・それから朝ご飯。その朝ご飯が素晴らしいのです。毎日欠かさず食べるのが木綿豆腐半丁、それに自分でつくったホウレン草などのお浸しや野菜の煮物、そして

自慢のワカメの振り掛け、ワカメも自分で季節に刈って一年中食卓に無い日は無いと云う程の好物。二三年前までは冬には岩ノリを摘んだり初夏にはワカメを刈ったり一人で小舟を操って海に出ていましたが、畑で怪我をしてからは海に出る時は息子の誠二さんと一緒です。誠二さんによるとお爺さんは海に出ると十才は若くなる云われる通り、櫓を上手に操るお爺ちゃんの腰は伸びて若々しい感さえあります。働くのが趣味、働くことほど楽しいことはないと言つ九十才、毎日の畑仕事・お天気の良い海行き・自分の時間で自分流に暮すのが駒居常二さんの長寿の秘訣。最後にお伺いしたのは八十五才現役バリバリのお婆ちゃん上治いそ子さん、上治さんのお宅は水産加工業、いそ子さんで二代目、工場には三代目の御長男、四代目の二人のお孫さん、三世代が一緒に働いています。朝魚のお腹を出し詰める加工に始まって、午後はバック詰め等出荷の仕事。一日中の立仕事。若いものの役に少しでもたてばと休んだことがない元氣さです。息子さんが疲れが見える日には休んだらと進めても工場に出ると元氣が出るからと云ういそ子さん。そんな日でも加工場の仕事が終わる夕方からは日の暮れまで畑仕事、お孫さんもお婆ちゃんのお意欲には負けずと脱帽。三人にお会いして、一番大事なのは働く喜びと意欲に溢れた毎日がいかに大切かと云うことでした。そして取材に伺って分かったのが吉川正夫さんと駒居常二さんは香住尋常高等小学校を大正八年卒業の同級生と云うことでした。久しぶりに顔を合わせた二人、長生きの競争しようという大笑い、元氣で何か可愛くて、素敵な気持ちを頂いた感じの取材三人にバンザイを。

1996年6月10日発行 通巻 476号  
昭和32年10月18日 第3種郵便物認可

発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所

兵庫県漁業協同組合連合会  
(財)兵庫県水産振興基金

〒652 神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 652-3424  
FAX 671-6885

定価80円(本体78円)